



仙台BOSAI-TECH Future Awards

～テクノロジーで明日を守るプランニングコンテスト

プログラム説明会

2022年8月23日(火) 14:00～15:00

仙台BOSAI-TECH Future Awards

はじめに

- 当説明会の内容は、録画しております。
- 質問は、Q & Aにて随時受け付けます。
※質問によっては当説明会で即時回答が難しい場合があります。ご了承ください。
- 説明会資料は、ウェブサイトからダウンロードできます。ぜひお手元でもご参照ください。
- 説明会後、ウェブサイトにて本日のアーカイブ動画を公開する予定です。

ウェブサイトは『**仙台BOSAI-TECH 事業創出プログラム2022**』で検索いただくか、
こちらのURLからご覧ください
https://sendai-bosai-tech.jp/event/future_awards/2022/

仙台BOSAI-TECH Future Awards

アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- プログラム説明
- テーマ説明（仙台市/多賀城市）
- 昨年度採択事例のご紹介
- 今後のご案内（エントリー/質問会）
- 質疑応答
- 『防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム』のご紹介（内閣府）

仙台BOSAI-TECH Future Awards

アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- プログラム説明
- テーマ説明（仙台市/多賀城市）
- 昨年度採択事例のご紹介
- 今後のご案内（エントリー/質問会）
- 質疑応答
- 『防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム』のご紹介（内閣府）



仙台BOSAI-TECH Future Awards

～テクノロジーで明日を守るプランニングコンテスト

仙台市経済局産業政策部産業振興課

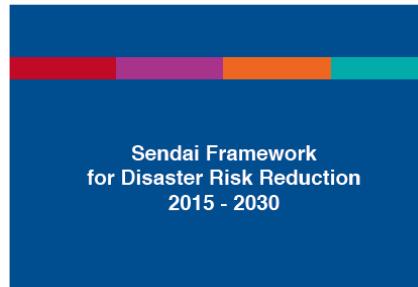
FUTURE AWARDS

仙台防災枠組2015-2030

●第3回国連防災世界会議（2015年3月開催）

幾多の災害から日本が得た教訓、防災技術・ノウハウ等の発信。

国際的な防災の取組指針「**仙台防災枠組2015-2030**」を採択。



●持続可能な開発目標（SDGs）（2015年9月決議）

ターゲット11.b（抜粋）

『2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、**仙台防災枠組2015-2030**に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。』

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

11 住み続けられる
まちづくりを



仙台市経済成長戦略2023（2019年～2023年）

取り組みの視点

ウィズコロナによる
地域経済の再生と変革

地元企業や産業の
競争力強化

経済成長と
社会的課題解決の両立

東北の
持続的発展への貢献

数値目標

2023年度までに黒字企業割合50%超

2つの感染症対策プロジェクトと7つの重点プロジェクト

地域経済の再生と
新たな挑戦

地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

経済環境の変化を踏まえた変革の促進

地元企業の更なる成長促進

「地域リーディング企業」を生み出す
徹底的集中支援の推進
(意欲ある中小企業の成長促進)

ローカル経済循環を拡大する
「地消地産」の推進
(中小企業の持続性向上・域内経済循環促進)

イノベーションによる新たな成長の促進

Society5.0を実現する
「X-TECHイノベーション都市・仙台」
(ICTによる地域産業の高度化)

東北の豊かな木米を創る
「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」
(起業支援の新たなステージへ)

次世代放射光施設立地を最大限に生かす
「光イノベーション都市・仙台」
(次世代放射光施設の利活用促進)

地域経済が成長する
ための基盤づくり

ダイバーシティ経営と人材確保
(多様な人材が中小企業で活躍する社会へ)

仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり
(企業誘致推進・東北自治体とのネットワーク強化)

目指す姿

仙台・東北で暮らす人々が豊かさを実感できる未来

- 社会課題をICTを用いて解決するとともに、ICT産業の振興を行う。
- そのうちのひとつが仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業。

仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

仙台防災枠組

世界の災害リスク削減 の実現

仙台市経済成長戦略2023

- ・東日本大震災の教訓を踏まえた防災環境都市作り
- ・Society5.0を実現する「X-Techイノベーション都市仙台」の実現

経済面からの視点で、BOSAI-TECH（防災×IT）分野での新事業創出を支援

BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

新事業創出の
プログラム
(2019年度・開始)

BOSAI-TECHプラットフォーム
事業創出の活動母体
(2022年2月3日設立)

2021年度の取り組み（1/2）

1



国内企業向け 事業創出プログラム

テーマ

テクノロジーを活用した効果的な災害情報の伝達 等

採択企業

フォルテ(株), サウンド(株), アンデックス(株), ニューラルポケット(株)

2



Global Innovationプログラム

テーマ

【東京海上】 防災分野における 3Dシミュレーション

【ドコモ】 映像配信/解析、XR、ロボティクス技術を活用したソリューション

採択企業

Time2Market, AMA Expereteye, BrainPoolTech, PaperAirpane 等

2021年度の取り組み（2/2）

3



実証実験サポートプログラム

概要

防災関連事業の創出や社会実装を進めるための実証実験を行うプログラムです。実証フィールドの調整や検証費用等を支援します。

採択企業

プライムバリュー(株)、丸紅(株)、NECプラットフォームズ(株)
生活協同組合連合会 コープ東北サンネット事業連合、情報整備局

BOSAI-TECHカンファレンス

概要

防災分野に関心の高い企業・研究機関・自治体が国内外から集結し、BOSAI-TECH事例の紹介や参加者とのマッチング機会を提供するイベント。2021年度は3/1開催。

登壇企業

国内企業 11社、海外企業 6社、等

4



仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム

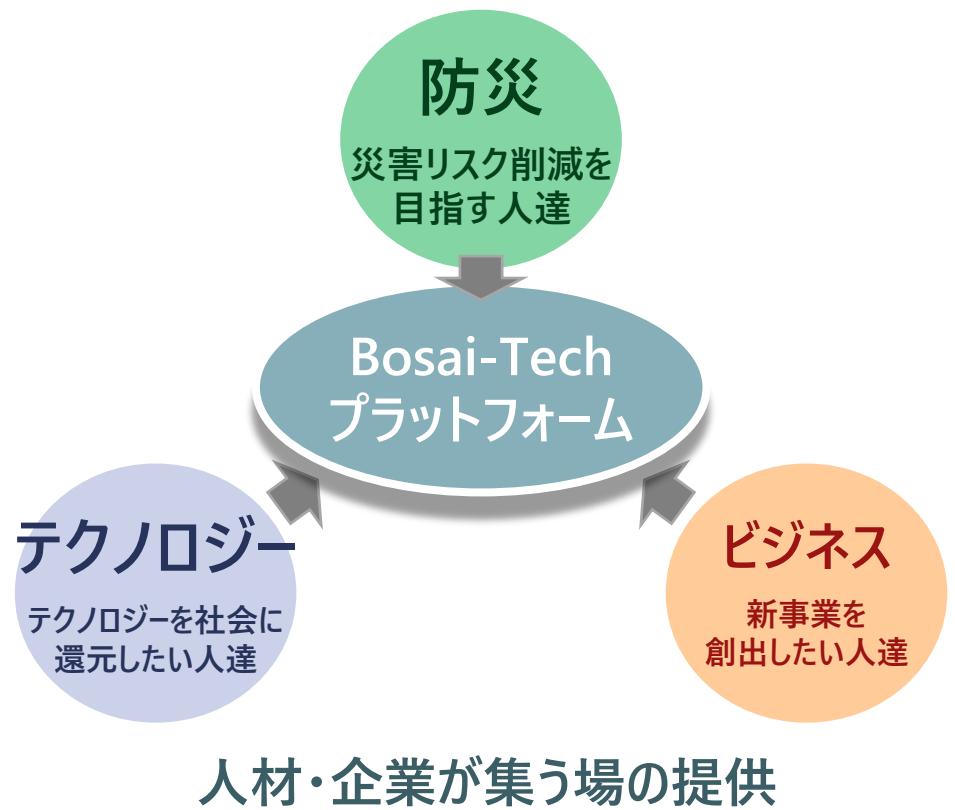


■ プラットフォームの目指す姿

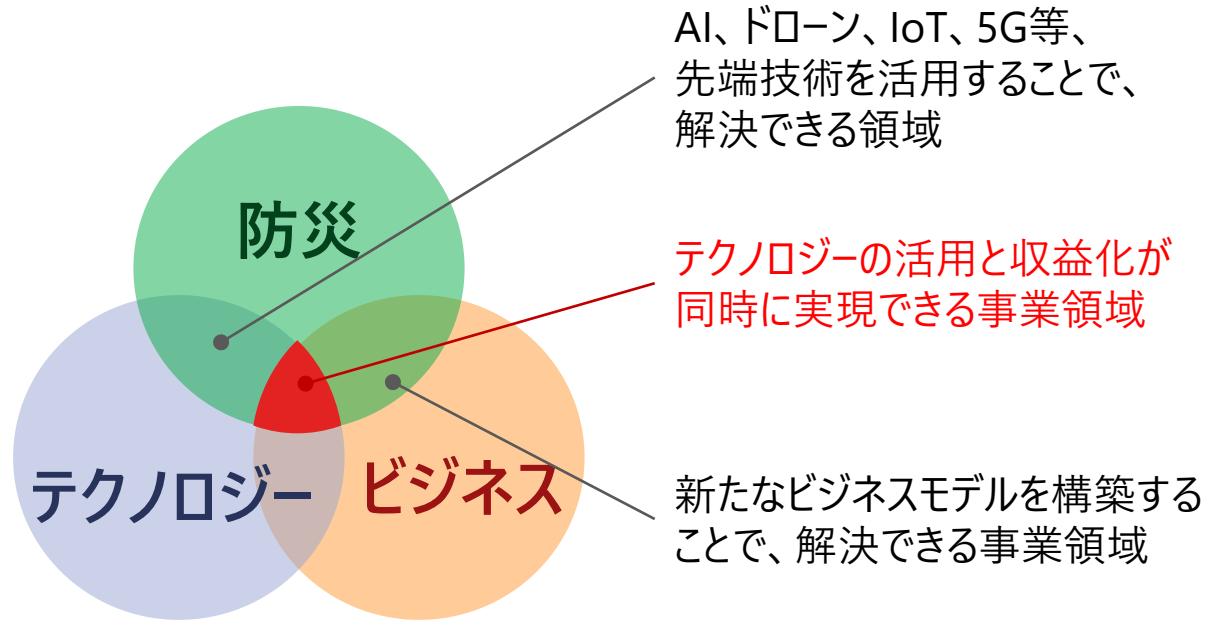
『仙台防災枠組』の実現を目指し、
【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した
新たな解決策を生み出す場となり、
その解決策を仙台、日本全国、世界へと展開する

2022年2月3日にプラットフォームが設立されました。

プラットフォームのコンセプト

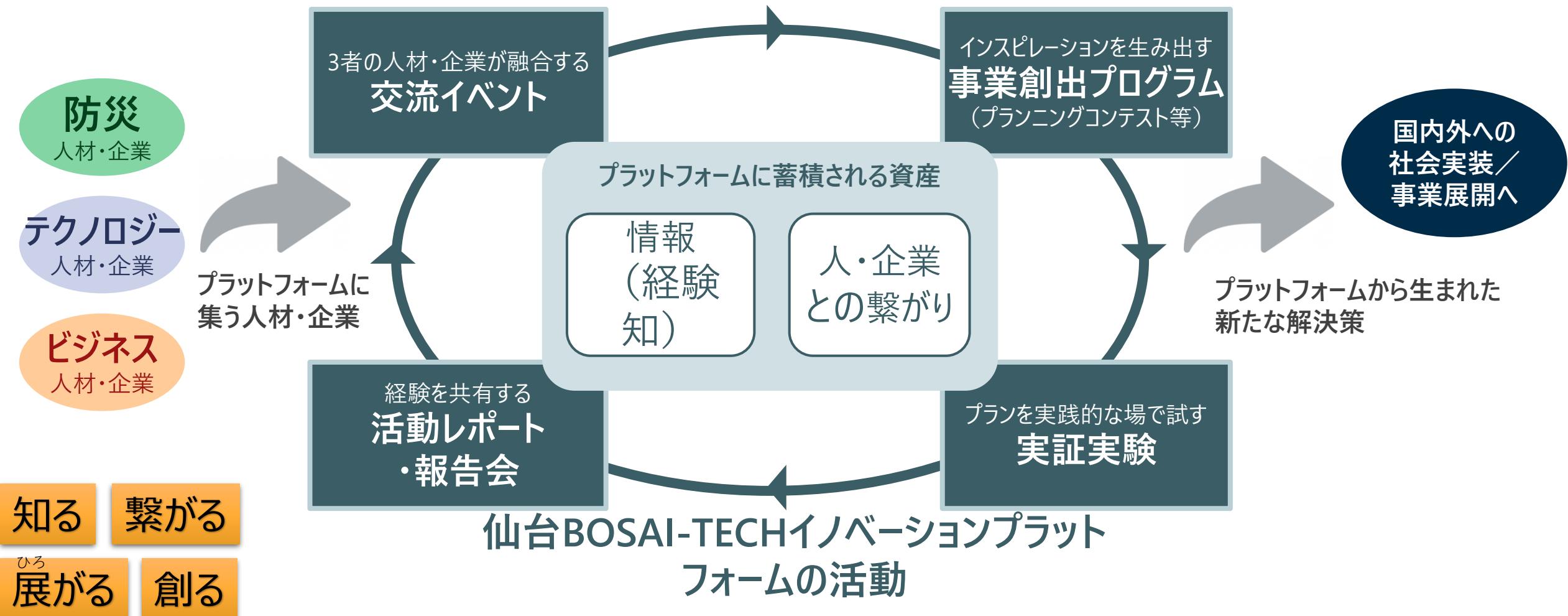


■プラットフォームで創出する解決策の領域



【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した
新たな解決策を持続的に生み出す

プラットフォームの活動内容



実証実験事例（2021年度仙台BOSAI-TECH Future Awards）

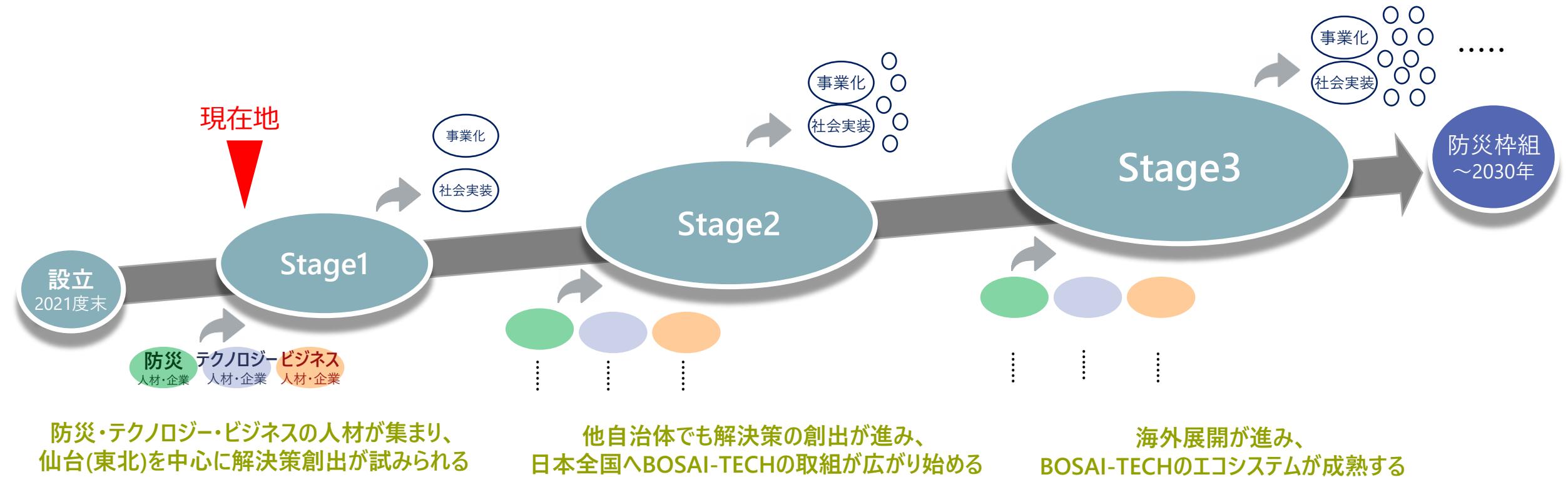
屋外拡声装置×音声デジタル加工
(サウンド(株) 2022.2)



避難所×デジタル受付・地域BWA
(アンテックス(株)・フォルテ(株) 2022.2)



仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームのロードマップ



【2020～2021年度プログラム成果】

- ・仙台市をフィールドとした複数の実証実験が進行中 → 他自治体にもデモンストレーション・実証実験が拡大
- ・一部の製品についてベータ版・プロトタイプがリリース → 仙台市および他企業で導入検討
- ・BOSAI-TECHの社会実装におけるJV設立 → 地域ICT企業が参画
- ・外資系企業と地域企業による協業開始

仙台BOSAI-TECH Future Awards

アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- **プログラム説明**
- テーマ説明（仙台市/多賀城市）
- 昨年度採択事例のご紹介
- 今後のご案内（エントリー/質問会）
- 質疑応答
- 『防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム』のご紹介（内閣府）

仙台BOSAI-TECH Future Awards

Future Awardsとは

防災・減災課題を解決するプランニングコンテスト

- 自治体から防災・減災に関するテーマを提示
- テーマに関してテクノロジーで解決するアイデア・プランを募集

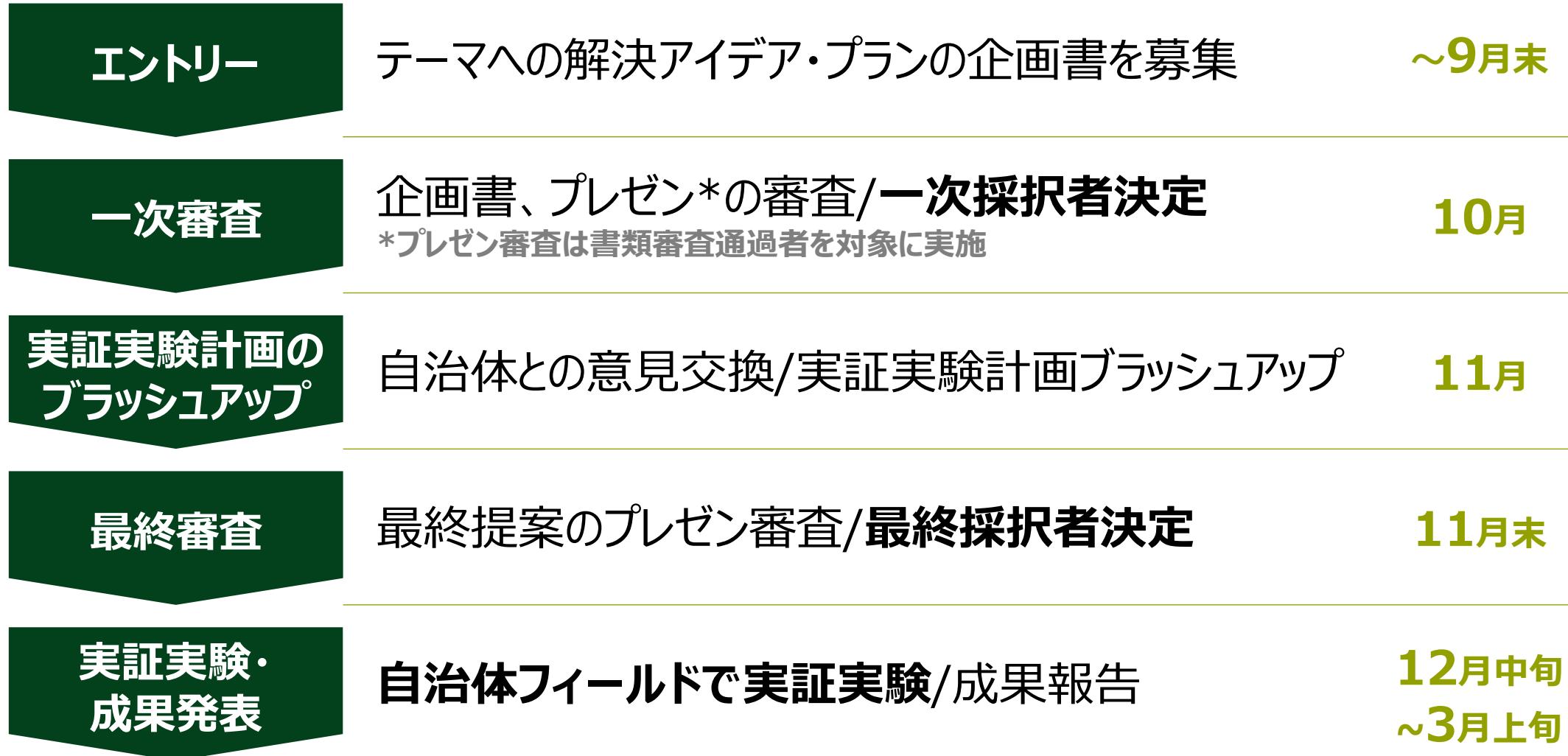
解決アイデア・プランの社会実装にむけた実証実験を支援

- 防災現場からの意見を受けて、提案ソリューションをブラッシュアップできる
- 自治体の協力*のもと、**提案ソリューションの実証実験ができる**
*実証実験場所の提供、ユーザテストの協力、など。
- **実証実験費用の補助（最大50万円）*を受けられる**
*原則、中小・中堅企業が解決プランの提案・実証実験を主導する場合に限る。
中小・中堅企業とは、中小企業法で定められる中小企業及びそれ以外の資本金10億円未満の企業を指す

防災・減災課題の解決に意欲的で、
主体的に実証実験に取り組むことができる法人

- 防災減災に応用できる**技術・プロダクト***を持つこと
*IoT、AI、ドローン、ロボット、センシング、データ分析、位置情報など
- 実証実験のための**ソリューション***を用意できること
*プロトタイプでも可。ただし、一部テーマについてはアイデア検証でも可（対象はテーマ紹介パートで説明）
- 実証実験の際に**現地（自治体の提供するフィールド）**に参加*すること
*実証実験のみ。プログラム自体は原則オンラインで実施

仙台BOSAI-TECH Future Awards コンテストの流れ



スケジュール：エントリーから一次採択まで

現在

9/1 (木)

9/30 (金)

10月上旬

10/17 (月) 予定

応募締切
↓

エントリー受付

- ・テーマに関する企画書を提出
- ・企画書には、事業プランの概要と実証実験計画案を記載

質問会

- ・テーマに関する質問を事前募集・回答
- ・事前質問は8/29(月) 12:00締切

書類審査

- ・企画書の内容を審査

一次プレゼン審査

- ・書類審査通過者は企画書の内容をプレゼン

一次採択者決定

質問は事前に[ウェブサイト](#)の
[問い合わせフォーム](#)からお送りください

書類審査通過者に個別にご案内します
調整のうえ、ご参加をお願いします

仙台BOSAI-TECH Future Awards エントリー/質問会

エントリー

ウェブサイトからエントリー受付中
9/30（金）締切

＜企画書の記載項目＞

1. 事業プランの概要
 - ・ テーマの課題を解決するソリューション
 - ・ ソリューションに使用する技術・テクノロジー
2. 実証実験計画案
 - ・ 実施体制
 - ・ 実証実験で検証する仮説、検証方法
 - ・ 具体的な実施内容、スケジュール
 - ・ 概算費用とその内訳

質問会

ウェブサイトから参加申込を受付中
事前質問も問い合わせフォームより受付中
※事前質問と参加申込はそれぞれ登録が必要です

開催日時：2022年9月1日（木）14時～15時
事前質問締切：2022年8月29日（月）12時
参加費：無料（事前申込制）
開催方法：オンライン

ウェブサイトはこちら▶



仙台BOSAI-TECH Future Awards テーマ提供自治体のご紹介 1/2



仙台市
SENDAI CITY

所在地

宮城県中央部

人口

約110万人

特に対策の必
要な災害

地震、津波、風水害

市の特徴

- ・ 東北唯一の政令指定都市。国内主要都市とアクセス良好
- ・ 東部に市街地、西部に山岳・森林が広がる
- ・ 夏は冷涼、冬は雪が少ない
- ・ 名所・名物は、伊達政宗公、仙台七夕まつり、など



仙台BOSAI-TECH Future Awards

テーマ提供自治体のご紹介 2/2



多賀城市

所在地

宮城県中央東部

人口

約6.2万人

特に対策の必
要な災害

地震、津波、大雨・洪水

市の特徴

- 仙台市から良好なアクセス（公共交通機関で30分ほど）
- 東西に長く、中央に流れる砂押川を境に、東部・北部に史跡、南部に工場地帯、西部に田畠が広がる
- 名所・名物は、多賀城跡（日本三大史跡）、古代米を使用したグルメブランド『しろのむらさき』、など



仙台BOSAI-TECH Future Awards

協力自治体のご紹介

協力自治体の
関わり方

- ・ テーマに関して、各自治体の目線から課題等をコメント
- ・ 企画書を閲覧
- ・ 実証実験の視察
- ・ 最終審査プレゼン、成果報告会のアーカイブ視聴

協力自治体の
特に関心のある
テーマ



塩竈市
Shiogama City

- 01-1. 避難・被害情報の効率的な集約・共有
- 01-2. 津波避難施設の避難者状況把握
- 02-1. 沿岸部における効率的な情報伝達
- 02-2. 市街地における不特定多数への情報伝達
- 03-2. 指定避難所（学校施設等）への避難者受け入れ

仙台市近隣の3自治体



白石市
Shiroishi City

- 01-1. 避難・被害情報の効率的な集約・共有
- 03-2. 指定避難所（学校施設等）への避難者受け入れ



利府町
Rifu town

- 01-1. 避難・被害情報の効率的な集約・共有
- 02-1. 沿岸部における効率的な情報伝達
- 03-2. 指定避難所（学校施設等）への避難者受け入れ

仙台BOSAI-TECH Future Awards

アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- プログラム説明
- **テーマ説明（仙台市/多賀城市）**
- 昨年度採択事例のご紹介
- 今後のご案内（エントリー/質問会）
- 質疑応答
- 『防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム』のご紹介（内閣府）

仙台BOSAI-TECH Future Awards テーマ一覧

	テーマ	提供自治体	
01 迅速な災害情報収集	01-1. 避難・被害情報の効率的な集約・共有	迅速で効果的な災害対応を実現するため、災害時に職員等が収集する情報を効率的に集約し、災害対策本部や他部門等に分かりやすく迅速に共有するソリューションを募集します。 01-2. 津波避難施設の避難者状況把握	多賀城市
		発災時に市職員が参集しない津波避難施設における避難状況を迅速に把握し、安否確認等の必要な支援の手配に役立つソリューションを募集します。	仙台市
02 効果的な災害情報の伝達	02-1. 沿岸部における効率的な情報伝達	沿岸部に設置されている屋外拡声装置の音声を分析し、効果的な屋外拡声装置の運用・配置、代替手段の活用を通じて避難対象者へ効率的に情報を伝達することに役立つソリューションを募集します。	仙台市
	02-2. 市街地における不特定多数への情報伝達	人の集まる市街地や公共施設において、市内の既存設備を活用し、不特定多数に容易且つリアルタイムに情報伝達できるソリューションを募集します。	仙台市
03 効率的な避難所運営	03-1. 一時避難場所（津波避難ビル）への避難者受け入れ	施設管理者不在時でも一時避難場所（津波避難ビル）を迅速に解錠し、避難者を受け入れることに役立つソリューションを募集します。	多賀城市
	03-2. 指定避難所（学校施設等）への避難者受け入れ	市職員や施設管理者の到着前でも指定避難所（学校施設等）を迅速に解錠し、避難者を受け入れることに役立つソリューションを募集します。	仙台市
04 次なる災害への備え	04-1. 流通在庫備蓄の高度化	仙台市が実施している流通在庫備蓄の仕組みについて、企業側の負担を軽減しつつ、対象品目や契約先の拡充をしていくためのアイデア・ソリューションを募集します。	仙台市
	04-2. 震災アーカイブスを活用した震災伝承の推進	多賀城市的震災アーカイブスを活用し、防災教育・市民の防災意識向上を狙った震災伝承の推進に役立つアイデア・ソリューションを募集します。	多賀城市

仙台BOSAI-TECH Future Awards

仙台市テーマ

テーマ

提供自治体

01

迅速な災害情報収集

01-1. 避難・被害情報の効率的な集約・共有

迅速で効果的な災害対応を実現するため、災害時に職員等が収集する情報を効率的に集約し、災害対策本部や他部門等に分かりやすく迅速に共有するソリューションを募集します。

多賀城市

02

効果的な災害情報の伝達

01-2. 津波避難施設の避難者状況把握

発災時に市職員が参集しない津波避難施設における避難状況を迅速に把握し、安否確認等の必要な支援の手配に役立つソリューションを募集します。

仙台市

02-1. 沿岸部における効率的な情報伝達

沿岸部に設置されている屋外拡声装置の音声を分析し、効果的な屋外拡声装置の運用・配置、代替手段の活用を通じて避難対象者へ効率的に情報を伝達することに役立つソリューションを募集します。

仙台市

02-2. 市街地における不特定多数への情報伝達

人の集まる市街地や公共施設において、市内の既存設備を活用し、不特定多数に容易且つリアルタイムに情報伝達できるソリューションを募集します。

03

効率的な避難所運営

03-1. 一時避難場所（津波避難ビル）への避難者受け入れ

施設管理者不在時でも一時避難場所（津波避難ビル）を迅速に解錠し、避難者を受け入れることに役立つソリューションを募集します。

多賀城市

03-2. 指定避難所（学校施設等）への避難者受け入れ

市職員や施設管理者の到着前でも指定避難所（学校施設等）を迅速に解錠し、避難者を受け入れることに役立つソリューションを募集します。

仙台市

04

次なる災害への備え

04-1. 流通在庫備蓄の高度化

仙台市が実施している流通在庫備蓄の仕組みについて、企業側の負担を軽減しつつ、対象品目や契約先の拡充をしていくためのアイデア・ソリューションを募集します。

仙台市

04-2. 震災アーカイブスを活用した震災伝承の推進

多賀城市的震災アーカイブスを活用し、防災教育・市民の防災意識向上を狙った震災伝承の推進に役立つアイデア・ソリューションを募集します。

多賀城市

仙台BOSAI-TECH Future Awards

多賀城市テーマ

	テーマ	提供自治体
01 迅速な災害情報収集	01-1. 避難・被害情報の効率的な集約・共有 01-2. 津波避難施設の避難者状況把握	迅速で効果的な災害対応を実現するため、災害時に職員等が収集する情報を効率的に集約し、災害対策本部や他部門等に分かりやすく迅速に共有するソリューションを募集します。 発災時に市職員が参集しない津波避難施設における避難状況を迅速に把握し、安否確認等の必要な支援の手配に役立つソリューションを募集します。
02 効果的な災害情報の伝達	02-1. 沿岸部における効率的な情報伝達 02-2. 市街地における不特定多数への情報伝達	沿岸部に設置されている屋外拡声装置の音声を分析し、効果的な屋外拡声装置の運用・配置、代替手段の活用を通じて避難対象者へ効率的に情報を伝達することに役立つソリューションを募集します。 人の集まる市街地や公共施設において、市内の既存設備を活用し、不特定多数に容易且つリアルタイムに情報伝達できるソリューションを募集します。
03 効率的な避難所運営	03-1. 一時避難場所（津波避難ビル）への避難者受け入れ 03-2. 指定避難所（学校施設等）への避難者受け入れ	施設管理者不在時でも一時避難場所（津波避難ビル）を迅速に解錠し、避難者を受け入れることに役立つソリューションを募集します。 市職員や施設管理者の到着前でも指定避難所（学校施設等）を迅速に解錠し、避難者を受け入れることに役立つソリューションを募集します。
04 次なる災害への備え	04-1. 流通在庫備蓄の高度化 04-2. 震災アーカイブスを活用した震災伝承の推進	仙台市が実施している流通在庫備蓄の仕組みについて、企業側の負担を軽減しつつ、対象品目や契約先の拡充をしていくためのアイデア・ソリューションを募集します。 多賀城市的震災アーカイブスを活用し、防災教育・市民の防災意識向上を狙った震災伝承の推進に役立つアイデア・ソリューションを募集します。

仙台BOSAI-TECH Future Awards

アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- プログラム説明
- テーマ説明（仙台市/多賀城市）
- **昨年度採択事例のご紹介**
- 今後のご案内（エントリー/質問会）
- 質疑応答
- 『防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム』のご紹介（内閣府）

仙台BOSAI-TECH Future Awards

昨年度採択事例のご紹介 1/2

テーマ	社名	成果報告書タイトル
テーマ02： テクノロジーを活用した効率的な災害情報の伝達	サウンド株式会社	音声のデジタル加工で既存屋外スピーカーの価値を高める
テーマ03： テクノロジーを活用した効率的な避難所運営の支援	アンデックス株式会社・ ニューラルポケット株式会社	テクノロジーを活用した効率的な避難所運営の支援 地域BWAを活用したAIカメラ
	株式会社フォルテ	デジタルを用いた受付の実証

昨年度採択事例の成果報告書はプラットフォームサイトで公開中です
成果報告書タイトルのリンクよりご参照ください

仙台BOSAI-TECH Future Awards 昨年度採択事例のご紹介 2/2

株式会社サウンド



2/15屋外拡声装置の実証実験



テーマ

テーマ02：テクノロジーを活用した効果的な災害情報の伝達

技術

音声のデジタル加工

ソリューション (仮説)

既存の災害情報伝達装置の音声を
加工し、聞き取りやすくする

実証実験 の検証内容

仙台市の災害情報伝達装置（戸別受信機/屋外拡声装置）の音声
をデジタル加工し、仙台市職員が加工前後の聞き取りやすさを比較する

実証実験準 備・実施内容

日付	内容	参加者
1/13	実証実験内容のすり合わせ	仙台市（担当者）/サウンド/スピーカーメーカー
1/28	予備実験(サンプル音声テスト)	仙台市（担当者）/サウンド/スピーカーメーカー
2/1	実証実験1 (戸別受信機の音声比較)	仙台市*/サウンド *) 市職員30名がモニター参加
2/15	実証実験2 (屋外拡声装置の音声比較)	仙台市*/サウンド *) 市職員14名がモニター参加

Future Awards終了後も
仙台市と実証実験を継続中

仙台BOSAI-TECH Future Awards

アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- プログラム説明
- テーマ説明（仙台市/多賀城市）
- 昨年度採択事例のご紹介
- **今後のご案内（エントリー/質問会）**
- 質疑応答
- 『防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム』のご紹介（内閣府）

仙台BOSAI-TECH Future Awards エントリー/質問会

エントリー

ウェブサイトからエントリー受付中
9/30（金）締切

＜企画書の記載項目＞

1. 事業プランの概要
 - ・ テーマの課題を解決するソリューション
 - ・ ソリューションに使用する技術・テクノロジー
2. 実証実験計画案
 - ・ 実施体制
 - ・ 実証実験で検証する仮説、検証方法
 - ・ 具体的な実施内容、スケジュール
 - ・ 概算費用とその内訳

質問会

ウェブサイトから参加申込を受付中
事前質問も問い合わせフォームより受付中
※事前質問と参加申込はそれぞれ登録が必要です

開催日時：2022年9月1日（木）14時～15時
事前質問締切：2022年8月29日（月）12時
参加費：無料（事前申込制）
開催方法：オンライン

ウェブサイトはこちら▶



仙台BOSAI-TECH Future Awards

アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- プログラム説明
- テーマ説明（仙台市/多賀城市）
- 昨年度採択事例のご紹介
- 今後のご案内（エントリー/質問会）
- **質疑応答**
- 『防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム』のご紹介（内閣府）

仙台BOSAI-TECH Future Awards

アジェンダ

- 仙台市からのご挨拶
- プログラム説明
- テーマ説明（仙台市/多賀城市）
- 昨年度採択事例のご紹介
- 今後のご案内（エントリー/質問会）
- 質疑応答
- **『防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム』のご紹介（内閣府）**

概要

- 近年、頻発化、激甚化する災害に対して、より効果的・効率的に対応していくためには、デジタル技術を始めとする先進技術を積極的に活用していくことが重要である。
- 一部の地方公共団体等では、すでに、こうした先進技術の活用が進められ、災害対応において効果を発揮しているものの、多くの地方公共団体等では、先進技術に関する情報収集や技術導入の機会が限られている。
- このため、内閣府では、災害対応を行う地方公共団体、公的機関等の困りごとや関心事項(ニーズ)と、民間企業、研究機関等が持つ先進技術のマッチングや効果的な活用事例の横展開等を行う場として、「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）を設置。

活動内容

マッチング支援

- ・災害対応を行う地方公共団体等の困りごとや関心事項(ニーズ)と民間企業等が持つ先進技術のマッチングの場の提供
 - マッチングサイトの開設
 - マッチングセミナーの開催



先進技術の活用事例の共有、導入に関するノウハウ等の全国展開

- ・先進技術の導入事例、効果的な活用事例を共有
- ・技術導入における課題の洗い出しや効果の検証を行い、それら先進技術導入に関するノウハウ等を全国展開

→ マッチングサイト・マッチングセミナー等を通じた情報発信

マッチングサイトについて

概要

- 「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）の一環として、災害対応を行う地方公共団体等の困りごとや関心事項（ニーズ）と民間企業等が持つ先進技術のマッチングを行う「マッチングサイト」を開設。
- マッチング機能に加え、平時から復旧・復興期までの災害フェーズ、風水害、地震といった災害種別等に応じてニーズ/先進技術の検索も可能。
- 今後、ユーザーからの意見を踏まえ、随時修正や機能の追加を予定。



現在の機能

- ・登録したニーズ/先進技術(1団体で複数のニーズ/先進技術の登録が可能)に合致する先進技術/ニーズのマッチング
- ・災害フェーズ(平時、危険切迫時、応急対応時、復旧・復興期)、災害種別(風水害、地震、土砂災害、津波、火山災害、雪害、火災等)、団体の所在地、予算規模、導入時期、導入実績・表彰歴、キーワード等の諸条件を絞ったニーズ/技術の検索

令和3年度マッチングセミナーの概要

第1回

【日 時】
令和3年8月31日(火) 14:00~15:20

【会 場】
オンライン

【議事内容】

- 棚橋防災担当大臣による開催挨拶
- プラットフォームの説明
- 自治体×企業による取組事例紹介
 - ①京都府福知山市×亀岡電子
 - ②広島県広島市×1stメディア
 - ③大分県日田市×ノーベル
- マッチングサイトの紹介

※参加申込数
 ○地方公共団体等：144件
 ○民間企業等：414件

第2回

【日 時】
令和3年11月5日(金) 10:00~13:50
※「ぼうさいこくたい2021」プレイベントとして開催

【会 場】
岩手県釜石市・釜石市民ホールTETTO
(※オンライン併用)

【議事内容】

【第1部】

- 自治体×企業 取組事例の紹介
 - ①北海道喜茂別町×ジャパンケーブルキャスト
 - ②東京都新宿区×工学院大学
 - ③静岡県藤枝市×ソフトバンク・WOTA
 - ④熊本県八代市×トヨタ自動車九州

○官民連携による自治体独自の施策紹介

- ①新潟県「防災産業クラスター」
- ②仙台市「仙台BOSAI-TECH」

○個別相談会及びマッチングサイト新機能紹介

【第2部】

- 自治体との個別相談会（計11自治体・33企業）
 - ・現地出展
 - (岩手県) 岩手県、釜石市、矢巾町、岩泉町
 - (宮城県) 気仙沼市
 - ・オンライン出展
 - 青森県むつ市、宮城県仙台市、岡山県、
徳島県藍住町、高知県室戸市、熊本県八代市

※参加申込数
 ○地方公共団体等：97件
 ○民間企業等：199件

第3回

【日 時】
令和4年2月10日(木) 10:00~15:00

【会 場】
オンライン

【議事内容】

【第1部】

- 自治体×企業 取組事例の紹介
 - ①福岡県福岡市×NTTビジネスソリューションズ
 - ②福岡県大牟田市×ニシム電子工業・
パナソニックシステムソリューションズジャパン
 - ③静岡県熱海市×佐川急便
- 「防テクPF」を通じたマッチング事例及び
令和4年度の防テクPF事業についての紹介

【第2部】

- 自治体との個別相談会（計18自治体・40企業）
 - ・オンライン出展
 - (福岡県) 福岡市、北九州市、大牟田市、
飯塚市、柳川市、福津市、みやま市
 - (山口県) 防府市、美祢市
 - (佐賀県) 佐賀市、嬉野市、神埼市
 - (長崎県) 佐世保市
 - (熊本県) 熊本県、熊本市
 - (岡山県) 倉敷市
 - (徳島県) 藍住町

※参加申込数
 ○地方公共団体等：86件
 ○民間企業等：279件

令和4年度マッチングセミナーの概要



【日 時】

令和4年6月22日(水) 10:00~17:15

【会 場】

新潟県新潟市・朱鷺メッセ（※オンライン併用）

【議事内容】

【第1部】（内閣府主催）

○自治体×企業 取組事例の紹介

- ①熊本県小国町×アステリア
- ②福井県×スペクティ

○新潟県「防災産業クラスター」プラットフォームについて

○令和4年度の「防テクPF」を通じたマッチング事例発表

- ・内閣府
- ・京都府福知山市×エクシオグループ

○令和4年度の「防テクPF」の活動予定

第1部 参加申込数：

- ・現地参加者：111名

（公的機関：39名 事業者：71名 報道機関：1名）

- ・オンライン参加者：214名

（公的機関：49名 事業者：161名 報道機関：4名）



第1部 セミナーの様子

【第2部】（内閣府主催）

○自治体と企業の個別相談会（計15自治体・33企業）

○防テクPF相談窓口（計10団体）

○自治体・企業等の取組・アイディア展示（計19団体）



第2部 個別相談会の様子



第3部 ワークショップの様子

【第3部】（新潟県主催）※新潟県「防災産業クラスター」プラットフォームと連携

○ニーズ解決型ワークショップ ※内閣府からも参加し総評

防テクPFを通じたマッチング事例



概要

- 防テクPFを通じて、21件（10自治体,19企業）の事例が、新技術導入に向けて進展中。
- 福知山市の事例については、当初予定通り、今年度にプレテストの実施まで進展。

自治体名	事例の概要（かっこ内は提案企業名）	マッチングのきっかけ	現在の状況
青森県 むつ市	AIを活用した避難所運営支援システム (フォルテ)	個別相談会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の予算要求に繋がる可能性あり。 ・デジタル防災センターの整備と合わせ検討中。
岩手県 釜石市	SNS等からの収集した情報等とAIとを活用した防災・危機管理ソリューション (Specbee)	個別相談会	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアル版を導入済。 ・令和5年度の予算要求に繋がる可能性あり。
岩手県 岩泉町	情報共有支援サービス（防災チャットポット） (ウェザーニュース)	セミナー第1部	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ実施後、概算見積書を取得。 ・事業化に向け検討中。
宮城県 気仙沼市	防災行政無線放送内容のアプリ配信 (ジャパンケーブルキャスト)	セミナー第1部	<ul style="list-style-type: none"> ・導入に向けた打合せを継続中。 ・令和5年度の予算要求に繋がる可能性あり。
埼玉県 児玉郡上里町	避難所ガイドアプリ等を活用した防災情報の伝達手段多重化対策 (ファーストメディア)	マッチングサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せを継続中。 ・令和5年度の予算要求に繋がる可能性あり。
	実践的な防災訓練の提案 (東京電力グループ)	マッチングサイト	
京都府 福知山市	避難情報発令基準に基づく避難判断支援システムの構築 (エクシオグループ)	マッチングサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度6月6日よりプレテストを実施中。 ・プレテストの結果を踏まえ、令和5年出水期より本格運用予定。
	避難情報発令基準に基づく避難判断支援システムの構築 (パナソニック)	マッチングサイト	・令和4年度にプレテストを実施予定。

防テクPFを通じたマッチング事例



自治体名	事例の概要（かつて内は提案企業名）	マッチングのきっかけ	現在の状況
徳島県 藍住町	ハイブリッドカー用電源キット (トヨタ通商)	セミナー第1部	・実機によるデモを実施。 ・令和5年度の予算要求に繋がる可能性あり。
	A I を活用した防災アプリによる情報配信システム (ウェザーニューズ)	マッチングサイト	
	災害時支援物資・備蓄品の在庫情報の「見える化」 (ZAICO)	個別相談会	・打合せを実施済。 ・令和4年度にトライアル版の導入を検討中。
	災害時のロボット活用のための支援協定 (ロボットコネクト)	マッチングサイト	
	迅速な避難誘導を目的とした簡易型水位計測・警報システム (帝人フロンティア)	マッチングサイト	
	サービスロボットによる防災情報避難情報の配信プラットフォーム (ユカイ工業)	マッチングサイト	・打合せを実施済。
福岡県 うきは市	トイレと事務室を備える一体型車両 (エヌディーリース・システム)	個別相談会	
	情報集約システム (ドーン)	マッチングサイト	・システム概要のみ説明を受け、打合せ実施予定。
佐賀県 嬉野市	情報集約システム (ファーストメディア)	マッチングサイト	・打合せ実施予定。
	水位データと気象データを掛け合わせた水位予測モデルの構築 (協栄産業株式会社×YuMake合同会社)	個別相談会	・事業の説明を受け、事業化に向け検討中。
	災害情報の集約及び被害情報の予測と可視化 (株式会社Spectee)	個別相談会	・内水氾濫の予測等の説明を受け、事業化に向け検討中。
長崎県 佐世保市	位置情報データ活用による避難行動の等の把握 (株式会社ブログウォッチャー)	個別相談会	・避難行動の動向等の説明を受け、事業化に向け検討中。
	総合防災システムの導入 (アジア航測)	個別相談会	・システム導入にかかるRFIへの参加とシステムデモの実施。 ・令和4年度 システム導入に向け検討中。

防テクPFの令和4年度実施内容について



概要

- 令和3年度に、災害対応を行う地方公共団体等のニーズと民間企業等が持つ先進技術のマッチングや効果的な活用事例の横展開等を行う場として、「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）を設置し、その一環として、マッチングサイトを開設し、マッチングセミナーを開催しました。
- 令和4年度は、マッチングサイトの運営及びマッチングセミナーの開催に加え、マッチングサイト登録者へのマッチング等に向けた支援の取組を新規に実施いたします。

活動内容

引き続き実施

- ・災害対応を行う地方公共団体等のニーズと民間企業等が持つ先進技術のマッチングの場の提供
- ・先進技術の導入事例、効果的な活用事例を共有

QRコードからも
登録できます

マッチングサイトの運営

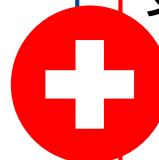
サイト登録無料

<https://www.bosaitech-pf.go.jp/>

マッチングセミナーの開催

＜令和4年度マッチングセミナー開催予定＞

第4回	令和4年6月22日	新潟県新潟市
第5回	令和4年10月	兵庫県神戸市 「ぼうさいこくたい」と 連携して同時開催
第6回	令和5年2月頃	東日本地方

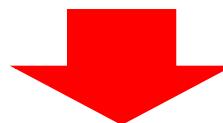


新規に実施

- ・マッチングサイト登録者へのマッチング等に向けた助言・支援
- ・技術導入における課題や、マッチングに向けた課題の洗い出しや、その対応策の効果の検証

支援①：「防テクPFモデル自治体支援事業」の実施

支援②：「防テクPF相談窓口」の開設



- ・地方公共団体への先進技術の導入を促進
- ・先進技術導入に至るまでのノウハウやプロセス等を横展開（モデル事例集の作成など）

支援① 「防テクPFモデル自治体支援事業」について



- 「自治体等のニーズや課題に即した企業とのマッチング」及び「先進技術導入に向けた自治体等の各種取組」に係るモデルを構築し、その成果について、横展開を図る支援事業を実施します。
- 事業化に向けた意欲があるが、マッチングや事業化が進展していない自治体を選定し、支援を行います。

支援内容・メリットについて

- 選定された自治体に対して、具体的な案件形成に向けた寄り添い型のサポートを実施します。

- ・自治体のニーズ・課題に即した企業の紹介
- ・案件の内容に応じた、補助事業の紹介
- ・自治体内での事業化に向けたアドバイス

応募要件について

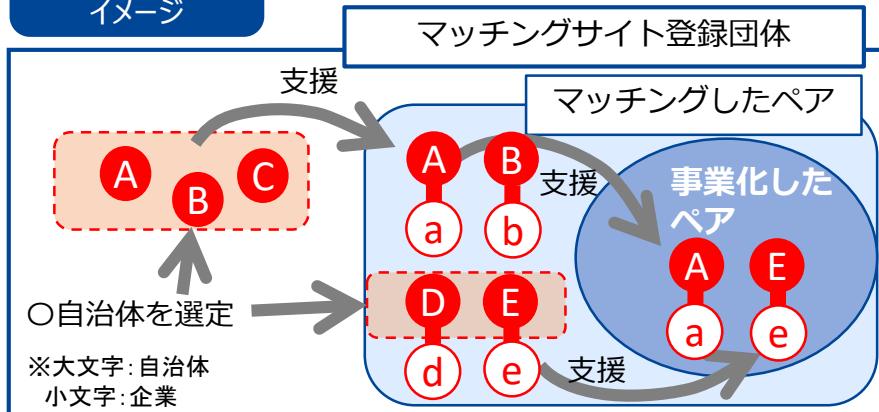
- 本事業に応募する地方公共団体は、以下の要件を満たす必要がある。

- ・すでに先進技術導入に向けた取組を行っている、もしくはこれからの取組を検討していること。
- ・応募団体内の担当部署・担当者が、主体的に本事業に参画し、内閣府からの支援を受ける体制があること。
- ・応募時点までに、マッチングサイトに登録し、かつニーズを記載していること。

その他

- 本事業による自治体への支援は、内閣府防災と（一社）日本防災プラットフォームの協働で行います。

イメージ



応募方法とスケジュール

- 本事業への応募の詳細（募集要項、提案書様式等）は専用サイトよりご確認できます。

<https://www.bosaitech-pf.go.jp/>

- 以下のスケジュールで支援を行います。

8月 4日	公募開始
9月16日	公募締切（提案書の提出期限）
9月下旬	審査・選定・結果の通知
10月	支援事業開始

支援② 「防テクPF相談窓口」について

○マッチングサイトに登録している自治体・企業等の課題を解決するために、寄せられた相談に対応する「防テクPF相談窓口」を設置します。

要件について

- ・防テクPFのマッチングサイト登録している自治体・企業等どなたでも相談できます。

実施内容について

○下記の方法で相談窓口を設置していますので、相談したい事項がある自治体・企業等はご相談ください。

- ・マッチングサイトにて、「防テクPF相談窓口」を常設（専用サイト内）。
- ・マッチングセミナーにおいても、特設ブースを設置。

○相談いただいた内容について、カルテを作成し、マッチングに向けて必要な助言等を行います。

『防テクPF相談窓口』 (Webサイト上に常設)



防災×テクノロジー
官民連携プラットフォーム マッチングサイト

ログアウト

ご利用方法

① 既に商品の情報を登録した。
『商品等の新規登録』をクリックし、『商品等の情報』に情報を入力して登録できます。
複数の商品を登録したい場合は、1つずつ登録してください。

② 既に登録した商品の情報を修正・削除したい。
マイページ内にある『登録済みの商品等』の一覧から選択・削除が可能です。

③ マッチングした会員情報を確認したい。
『マッチング一覧』をクリックし、確認できます。
ご質問いただいた商品の情報にマッチしたニーズを表示しています。
ご質問のできるユーザーを選択し、詳細情報を閲覧できます。
『お問い合わせ』をクリックし、ブックマークすることができます。

④ 会員登録用ニーズを検索したい。
『ニーズ検索』をクリックし、条件を選択して検索できます。
『マッチング一覧』のページからも『ニーズ検索』をクリックし検索できます。

商品等の新規登録 マッチング一覧 ニーズ検索 基本情報修正

防テクPF相談窓口 ●補助金リスト



会員専用ページ
よりアクセス

その他

○本事業による支援については、内閣府防災と（一社）日本防災プラットフォームの協働で行います。

地方公共団体の官民ネットワークとの連携



- 地方公共団体が構築する官民ネットワークとの連携強化を令和4年度より開始。
(「新しい資本主義実行計画」に基づく対応)
- 新潟県・仙台市との連携を開始しており、今後連携強化を図る他、他の地方公共団体の官民ネットワークとの連携開始を検討する。

新潟県の取組み

連携

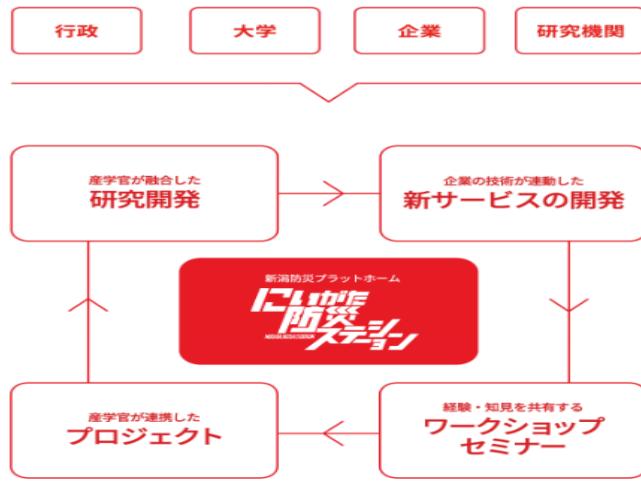


連携

仙台市の取組み

「防災産業クラスター」プラットフォーム (にいがた防災ステーション)

新潟の防災に関する“資源”が集まり新しい活用が生まれる“防災”的な総合基地



“新潟モデル”的確立と、新しい価値の発信

仙台市BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム

オープンイノベーションプログラムやビジネスマッチングイベントをはじめ、防災関連事業を創出する多様な機会を提供

BOSAI-TECH : 防災 × 先端ICT× ビジネス

仙台BOSAI-TECH

オープンイノベーションによる先端防災ソリューション開発

仙台防災枠組に基づく
産学官金連携基盤の形成

国内外の
「新たな防災市場」
への展開

相互にネットワークを強化・拡充



【マッチングサイトについて】

- マッチングサイトには、防災における先進技術の導入にご関心のある地方公共団体・公的機関、民間企業・研究機関等どなたでも無料でご登録いただけます。お気軽にご登録ください。

<https://www.bosaitech-pf.go.jp/>



【次回のマッチングセミナーについて（案）】※詳細は別添チラシをご参照ください

- 日時：令和4年10月21日（金）

- 会場：国際協力機構関西センター（JICA関西）@兵庫県神戸市 ※現地・オンライン併用で開催

- イベント内容（案）：

第1部（セミナー）10：00～11：30

- ・自治体における防災力強化の取組のご紹介
- ・「防テクPF」を通じたマッチング事例発表
- ・モデル事業のご紹介や、今後の「防テクPF」の活動予定

第2部（個別相談会等）12：45～14：45

- ・1自治体×1企業の商談による自治体防災課題解決を目指す「個別相談会」

【自治体対象】ブース出展者募集中！以下URLからご応募ください（登録期限：令和4年9月2日（月）18：00まで）

<https://forms.office.com/r/VgHXyvE5gJ>

- ・防テクPFの有効な活用について対面でアドバイスを行う「防テクPF相談窓口」

- ・防災に関する取り組みやアイデアを展示する「アイデア展示」

【自治体・企業等対象】相談者・出展者募集中！以下URLからご応募ください（登録期限：令和4年9月26日（月）18：00まで）

<https://forms.office.com/r/kdRbRVX7wv>

防災×テクノロジー 官民連携プラットフォーム



第5回マッチングセミナー イベント参加についてのご案内

日時：2022年10月21日（金）

開催場所：兵庫県神戸市・国際協力機構関西センター（JICA関西）
(オンライン同時開催)

参加
無料

(要参加登録)

内閣府では、災害対応を行う自治体等のニーズと民間企業等が持つ先進技術のマッチングや効果的な活用事例の横展開等を行う場である「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）の一環として、第5回マッチングセミナーを開催します。

今回は、ぼうさいこくたい2022のプレイベントとして開催致します。現地とオンライン（Zoom）どちらでも参加可能ですので、奮ってご参加ください。
※セミナー・各イベント等の参加申込は裏面をご覧ください。

プログラム概要（案）

【第1部（セミナー）】 10:00～11:30

- 自治体における防災力強化の取組のご紹介
- 「防テクPF」を通じたマッチング事例発表
- モデル事業のご紹介。今後の「防テクPF」の活動予定

【第2部（個別相談会等）】 12:45～14:45

- 自治体による企業との個別相談会
- 防テクPF相談窓口
- 自治体・企業等の取組・アイデア展示

第2部各種イベント 参加団体募集中！

※詳細は裏面をご参照下さい。



防テクPFマッチングサイトへの登録のお願い

登録料無料のマッチングサイトへの登録を受け付けております。
特にマッチングセミナー第2部参加には防テクPFマッチングサイトへの登録が必須となります。

以下URLまたは右記QRコードより、ご登録をお願いします。

<https://www.bosaitech-pf.go.jp/>

防テクPF



新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、開催方式を変更する可能性があります。最新情報は防テクPFマッチングサイトでご確認ください。



各イベント 参加方法

最新の情報については、防テクPFマッチングサイトにてご確認ください。

○第1部（セミナー）

セミナー聴講への参加につきましては、プレスリリース（9月頃）の際に募集を開始致します。
※報道機関の方のご参加も可能です。

○第2部（個別相談会 / 防テクPF相談窓口 / 自治体・企業等の取組・アイデア展示）

※各プログラム申込は先着順となります。

定員に達した場合は募集を登録期限前に締め切らせて頂く場合がございます。

●個別相談会（出展自治体募集中）

自治体対象

お申込みURL : <https://forms.office.com/r/VgHXyvE5gJ>

登録期限 2022年9月2日（金）18:00まで



●防テクPF相談窓口（参加団体募集中）

自治体・企業等対象

●自治体・企業等の取組・アイデア展示（出展団体募集中）

お申込みURL : <https://forms.office.com/r/kdRbRVX7wv>

登録期限 2022年9月26日（月）18:00まで



現地会場の情報

会場：国際協力機構関西センター（JICA関西）

2F ブリーフィング室

3F セミナー室31・32

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

HP : <https://www.jica.go.jp/kansai/office/access.html>

○電車でのアクセス

JR「灘」駅から徒歩約12分

阪神「岩屋」駅から徒歩約10分

○バスでのアクセス

神戸市バス29系統・100系統・101系統

阪神バスHAT神戸線

「県立美術館前」下車 西へ徒歩約1分



ぼうさいこくたい2022

詳細は以下URLよりご確認ください。

<https://bosai-kokutai.net/>



ぼうさい
こくたい
2022
HYOGO KOBE



セミナーへのお問い合わせ

東武トップツアーズ株式会社（内閣府委託事業受託者）

担当：佐藤、大野、高橋

電話：03-5348-3500（受付時間：平日10:00-18:00）

メール：boutech_pf@tobutoptours.co.jp

*ぼうさいこくたい2022に関するお問い合わせは左記HPからご確認ください。

Zoom終了後、アンケート画面が表示されます。

ご協力よろしくお願ひします。

THANK YOU!



SENDAI BOSAI TECH